



## SCA Reporter の CLI

この章では、Cisco Service Control Application Reporter (SCA Reporter) の CLI (コマンドラインインターフェイス) を使用して SCA Reporter 機能を実行するさまざまな方法 (構文、スイッチ、アプリケーションのオプションなど) について説明します。

- [CLI の概要 \(p.6-1\)](#)
- [レポートのスケジューリング \(p.6-1\)](#)
- [構文と使用法 \(p.6-2\)](#)

### CLI の概要

SCA Reporter の CLI (コマンドライン インターフェイス) はコマンドライン アプリケーションであり、SCA Reporter GUI の機能を補足するものです。CLI は、SCA Reporter の GUI よりも高機能で柔軟であり、サードパーティ製アプリケーションに統合して使用量ベースの出力および統計ベースの出力を生成できます。

CLI は、次の機能を備えています。

- Windows または Linux 環境で実行できます。
- 定義済みのレポート インスタンスを実行したり、レポート テンプレートを使用したりできます。
- レポートを定期的に生成するようにスケジューリングできます。

### レポートのスケジューリング

Reporter CLI を使用すると、選択したレポートを定期的に生成できます。これを行うには、外部のスケジューリング ユーティリティ (cron、PyCron、Windows スケジューラなど) を設定する必要があります。次の項で説明するとおり、既存のレポート インスタンス、またはレポート テンプレートを 사용할 수 있습니다。

次に示すのは、1 時間ごとに「Global Bandwidth per Service」レポートを生成する cron 行の例です。

```
20 * * * * reportercmd -report "Global Bandwidth per Service #1" -params \  
    "numhours=24;units=Mbit/s;avgdata=true;trafficdir=Both Directions" \  
    -format jpeg -o GBpS1.jpeg
```

## 構文と使用法

SCA Reporter をコマンドラインバージョンとして実行し、入力をパラメータとして渡すことができます。テンプレート ビューでは、レポート インスタンスまたはレポート テンプレートのいずれかから CLI コマンドを作成できます。データベース情報および SCE プラットフォームの IP パラメータは、作成された CLI コマンドに設定済みパラメータとともに組み込まれます。

コマンドを作成すると、そのコマンドは自動的にクリップボードにコピーされるので、コマンド ファイル シェルまたはコマンド プロンプトに貼り付け、必要な変更を加えてから実行できます。データを保存するためのファイル名と形式を追加する必要があります。これらのパラメータは、コマンド作成時には含まれていません。

元のレポート インスタンスに存在するすべてのパラメータが、`params` スイッチに組み込まれるわけではありません。パラメータが CLI 呼び出しで具体的にリストされていないときは、次のようになります。

- コマンドがレポート インスタンスに基づいている場合、その値はレポート インスタンスから取得されます。
- コマンドがレポート テンプレートに基づいている場合は、デフォルト値が使用されます（デフォルト値のない必須パラメータの値は定義する必要があります）。

## コマンドラインの使用法

SCA Reporter アプリケーションは、次のようなコマンドを使用して呼び出すことができます。

```
reportercmd -report "Global Bandwidth per Service
#1"-dbdriver"com.mysql.jdbc.Driver"-dburl "jdbc:mysql://127.0.0.1:3306/apricot"
-dbuser "pqb_admin"-dbpassword "pqb_admin"-policysce
"10.1.12.85"-params"numhours=240000000;seip=10.1.12.85;avgdata=true;link=Link 0,Link
1;trafficdir=Both Directions;services=Messaging Service,Generic UDP Service,Generic TCP
Service,News Service,FTP Service,Browsing Service,Default Service"-o "myfile"-format
"jpeg"
```

SCA Reporter から CLI コマンドの基礎となる文字列を生成できます。生成されたコマンドには、`-o` パラメータや `-format` パラメータは含まれていません。これらはコマンドに追加する必要があります。その他のパラメータを修正することもできます。

## コマンドライン スイッチ

SCA Reporter アプリケーションを呼び出す際、コマンドラインに次のスイッチを含めることができます。

- `-report`
  - `-dbdriver`
  - `-dburl`
  - `-dbuser`
  - `-dbpassword`
  - `-policysce`
  - `-params`
  - `-o`
  - `-format`
  - `-show`
- `-template`
  - `-dbdriver`
  - `-dburl`
  - `-dbuser`

- `-dbpassword`
- `-policysce`
- `-params`
- `-o`
- `-format`
- `-show`
- `-help`
- `-list`

## コマンドライン オプション

SCA Reporter アプリケーションを呼び出すコマンドラインのオプションについて、次の表で説明します。

表 6-1 SCA Reporter アプリケーションのコマンドライン オプション

オプション	SCA Reporter による処理	説明
<code>-report</code> <i>report-name</i>	指定された名前のレポート インスタンスを使用して、レポートを生成します。	このパラメータは、既存のレポート インスタンスからレポートを生成するときに使用します。
<code>-template</code> <i>template-name</i>	指定された名前のレポート テンプレートを使用して、レポートを生成します。	このパラメータは、テンプレートからレポートを生成するときに使用します。
<code>-dbdriver</code> <i>db-driver</i>	データベースのドライバ	SCA Reporter で設定されているものと同じデータベース
<code>-dburl</code> <i>db-url</i>	データベースの URL	
<code>-dbuser</code> <i>db-user</i>	データベースのユーザ	
<code>-dbpassword</code> <i>db-password</i>	データベースのパスワード	
<code>-policysce</code> <i>IP of SCE for policy data</i>	サービス コンフィギュレーション データがレポートで使用される SCE プラットフォームの IP アドレス	SCA Reporter で設定されている SCE プラットフォームの IP アドレス
<code>-params</code> <i>param1=value1;...</i>	プロパティ ビューからのパラメータ	特定パラメータを指定しない場合は、デフォルト値が使用されます。
<code>-o</code> <i>filename</i>	出力を保存するファイルの名前	そのファイル名がすでに存在する場合、元のファイルは上書きされます。
<code>-format</code> <i>fileformat</i>	レポートをグラフとして出力するか、表として出力するかを指定します。 <i>fileformat</i> パラメータには、次の値のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <code>jpeg</code></li> <li>• <code>csv</code></li> </ul>	
<code>-show</code>	実行せずに、レポートまたはテンプレートの構造 (パラメータを含む) を表示します。	

表 6-1 SCA Reporter アプリケーションのコマンドライン オプション (続き)

オプション	SCA Reporter による処理	説明
<code>-help</code>		
<code>-list</code>	すべてのテンプレート グループとレポート テンプレートの一覧を出力します。	

## レポート インスタンスでの Reporter コマンドの生成方法

### 手順概要

1. テンプレート ビューからレポート インスタンスを選択します。
2. タブのドロップダウン メニューから [Show Cmd] を選択します。
3. [OK] をクリックします。
4. 次のうちいずれかを実行します。
5. クリップボードの内容を貼り付けます。
6. 次の必須フラグを追加します。
7. パラメータを変更します。たとえば numhours パラメータを変更できます。
8. コマンドを実行します。

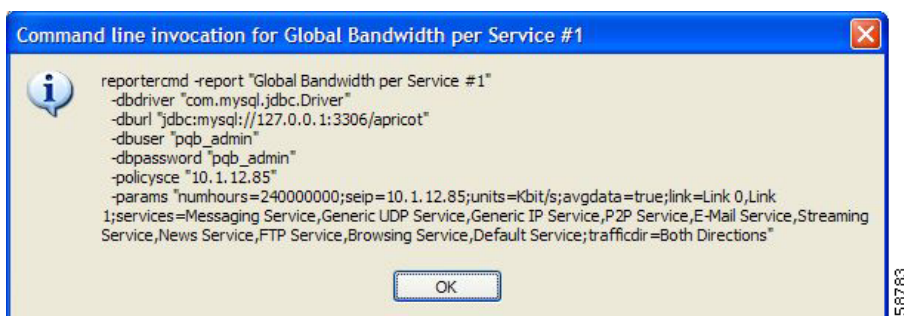
### 手順詳細

**ステップ 1** テンプレート ビューからレポート インスタンスを選択します。

**ステップ 2** タブのドロップダウン メニューから [Show Cmd] を選択します。

コマンドライン呼び出しダイアログボックスが表示され、生成されたコマンドが表示されます。

図 6-1



**ステップ 3** [OK] をクリックします。

コマンドおよびすべてのスイッチとパラメータがクリップボードに配置されます。

**ステップ 4** 次のうちいずれかを実行します。

- シェルからコマンドを実行するファイルを開き、Reporter ディレクトリにファイルを保存します。
- CLI コマンドを実行するコマンドプロンプトを開き、ディレクトリを Reporter ディレクトリに変更します。

**ステップ 5** クリップボードの内容を貼り付けます。

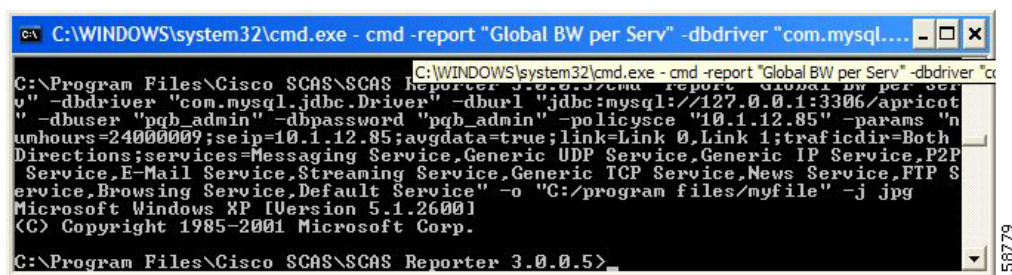
ファイルまたはコマンドラインにコマンドが貼り付けられます。

**ステップ 6** 次の必須フラグを追加します。

- `-o "filename"`
- `-format "fileformat"`

**ステップ 7** パラメータを変更します。たとえば numhours パラメータを変更できます。

図 6-2



**ステップ 8** コマンドを実行します。

エクスポートされたファイルが定義済みディレクトリに保存され、レポート インスタンス名にタイムスタンプが付きます。

## レポート テンプレートでの Reporter コマンドの生成方法

### 手順概要

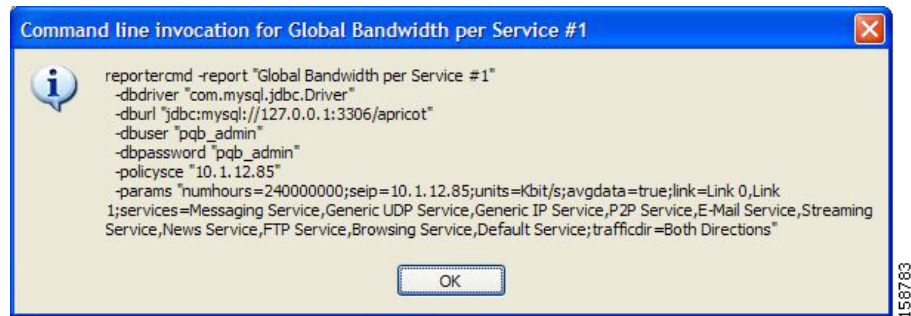
1. テンプレート ビューからレポート インスタンスを選択します。
2. タブのドロップダウン メニューから [Show Cmd] を選択します。
3. [OK] をクリックします。
4. 以前の手順のステップ 5 以降を実行します。

## 手順詳細

**ステップ 1** テンプレート ビューからレポート インスタンスを選択します。

**ステップ 2** タブのドロップダウン メニューから [Show Cmd] を選択します。

図 6-3



コマンドおよびすべてのスイッチとパラメータがクリップボードに配置されます。

デフォルト値があるパラメータには、デフォルト値が付与されます。デフォルト値のない必須パラメータは、\_\_\_（下線）の値で示されます。

**ステップ 3** [OK] をクリックします。

コマンドおよびすべてのスイッチとパラメータがクリップボードに配置されます。

**ステップ 4** 以前の手順のステップ 5 以降を実行します。